

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横芝光町立上塚小学校] 担当教諭名 [山本 一穂] (1-6年生 98名)

相手国・地域 [ベリーズ]

海外学校名 [San Marcos RC School] 担当教諭名 [木村 諒子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|-----------|--------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 総合的な学習の時間 | アートマイルプロジェクト | 15 |
| | 図画工作 | せんせいあのね | 5 |
| | | | |

■作品に込めた想いについて教えてください。

| | |
|--|-----------------------------------|
| 題 (テーマ) | ポイ捨てをやめて 海の宝物を守ろう |
| メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ) | 子ども達一人一人が、海の大切さを理解し、ゴミのない綺麗な海を守る。 |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 主体的に課題に取り組むことができた。 児童の考えを壁画という形で表現することができたので、達成感を味わうことができた。 海外とつながっているという実感をもつことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 相手国との時差があったので、児童が直接的なコミュニケーションをとることができなかった。 全学年で役割分担をしながらプロジェクトを進めたので、部分的な関わりになってしまった。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 地球環境を守る大切さや必要性を理解できるようになった。 児童にとって身近な海に対する親しみを深めた。 世界には自分たちが知らないさまざまな国があることを知り、外国への関心を高めた。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本との環境の違い、文化の違いに気付き、視野を広げることができた。 オリ・パラ教育の意義を学ぶことができた。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|--------------------|---------------|---|---|-------|
| 出会い 自己紹介 | 6月 | ・パワーポイントを用いて、日本・千葉県・横芝光町・上堺小学校の紹介をした。 (4年生) | ・自分たちの住む国や町、学校を海外の人たちにうまく伝えたいという思いで学習を進めていた。 | 総合5 |
| 共有 テーマ学習 | 7月 ～ 9月 | ・日本とベリーズの共通課題を調べ、「プラスチックによる海洋汚染」をテーマに設定した。 ・テーマについての調べ学習を進めた。 (5年生) | ・環境問題についての関心が高まった。 ・異文化理解をしようとする態度が高まった。 | 総合8 |
| 融合 メッセージ作成 | 10月 | ・5年生が調べた内容の発表を聞き、世界に向けたメッセージを決める。 (6年生) | ・世界の海洋汚染の現状を知り、驚いていた。 ・自分たちにできる具体策を話し合っていて考えていた。 | 総合2 |
| 創造 壁画制作 | 11月 | ・メッセージを表す壁画デザインを考え、壁画制作を行った。(1～3年) ・半分が完成した壁画をベリーズに送った。 | ・制作活動に楽しみながら取り組んでいた。 ・ベリーズの児童がどのような絵を完成させてくれるか楽しみにしていた。 | 図工4 |
| 評価 振り返り 自己評価 | 2月 | ・完成した壁画を鑑賞し、学習全体をふり返った。 | ・全校児童の前で壁画完成のお披露目会を行った。ひとつの作品を日本と海外の児童で作り上げたことに感動していた様子だった。 | 図工1 |

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついていた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

| 学習目標・つきたい力 | 評価 | 先生が手応えを感じた場面・理由 |
|-------------------------------|----|---|
| 自文化を理解する力 | 3 | 自文化について児童が知っていることをまとめ、表現した。 |
| 異文化を理解する力 | 4 | 自己紹介の場面で、ひとつの国にさまざまな人種がいて、一緒に生活していることに気付いた。 |
| 情報活用能力 (収集・まとめ・発信) | 4 | インターネットを活用し、必要な情報の取捨選択をすることができていた。 |
| コミュニケーション力 (双方向・共感・英語) | 2 | 両国の児童同士が直接コミュニケーションを図る機会がとれなかった。 |
| 批判的に思考する力 (客観的・論理的視点) | 4 | 海洋汚染の現状を捉え、自分たちにできることは何かを客観的に考えることができた。 |
| 主体的に考え行動する力 | 3 | 全校での取り組みとしたため、各学年の役割を果たした。 |
| 他者と協働する力 (学級内・海外の相手) | 4 | ひとつの目標に向かって学習を進める中で、必要な情報交換・意見交換を行っていた。 |
| 思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作) | 5 | 調べてわかったことをメッセージにすることで、思考力や表現力の高まりが見られた。 |
| 評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価) | 4 | 壁画を共同制作したことで、自分たちだけでなく、相手がどのような思いで絵を描いたかを味わうことができていた。 |